

金沢大学 外科専門研修プログラム



専門研修プログラム統括責任者
副専門研修プログラム統括責任者

八木真太郎
竹村博文・稲木紀幸・松本勲



専門医制度 の概要 (日本専門医機構)

求められる専門医像

それぞれの診療領域における適切な教育を受けて、十分な知識・経験を持ち、患者から信頼される **標準的な医療を提供できる医師**

専門医研修の展望

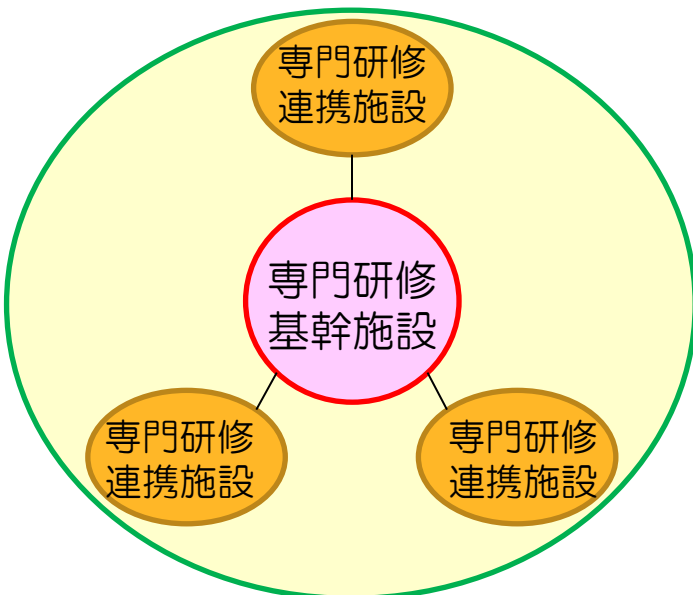
各学会が行っていた専門医の認定・評価業務を **中立的第三者機関** である “**日本専門医機構**” が行う。 **公的資格**

専門医研修の原則

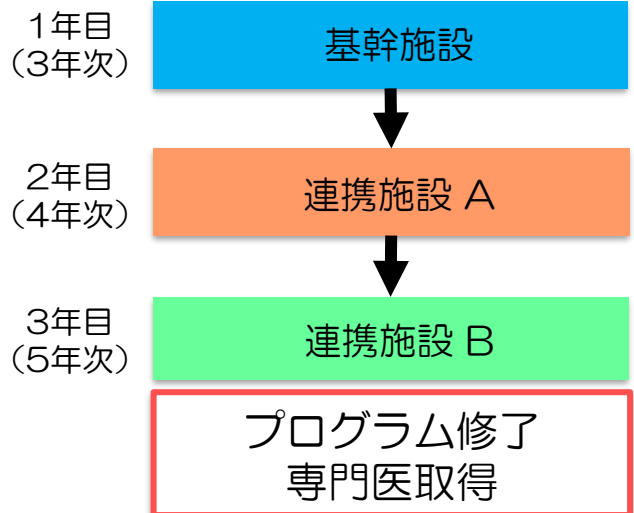
大学病院などの教育施設が **専門研修基幹施設** となり、 **専門研修連携施設** とともに **専門研修施設群** を形成することで専門医研修の場が提供される。

時間軸を加味した **研修プログラム** に従い、計画的な専門医研修を行う。

専門研修施設群の形成



プログラムに基づく計画的研修



2018年4月1日より新専門医制度による専門医研修が開始

外科領域 専門医制度について

外科領域専門医の構造



順次専門性の高い資格を取得できる専門医制度

外科専門医取得に必要な手術経験

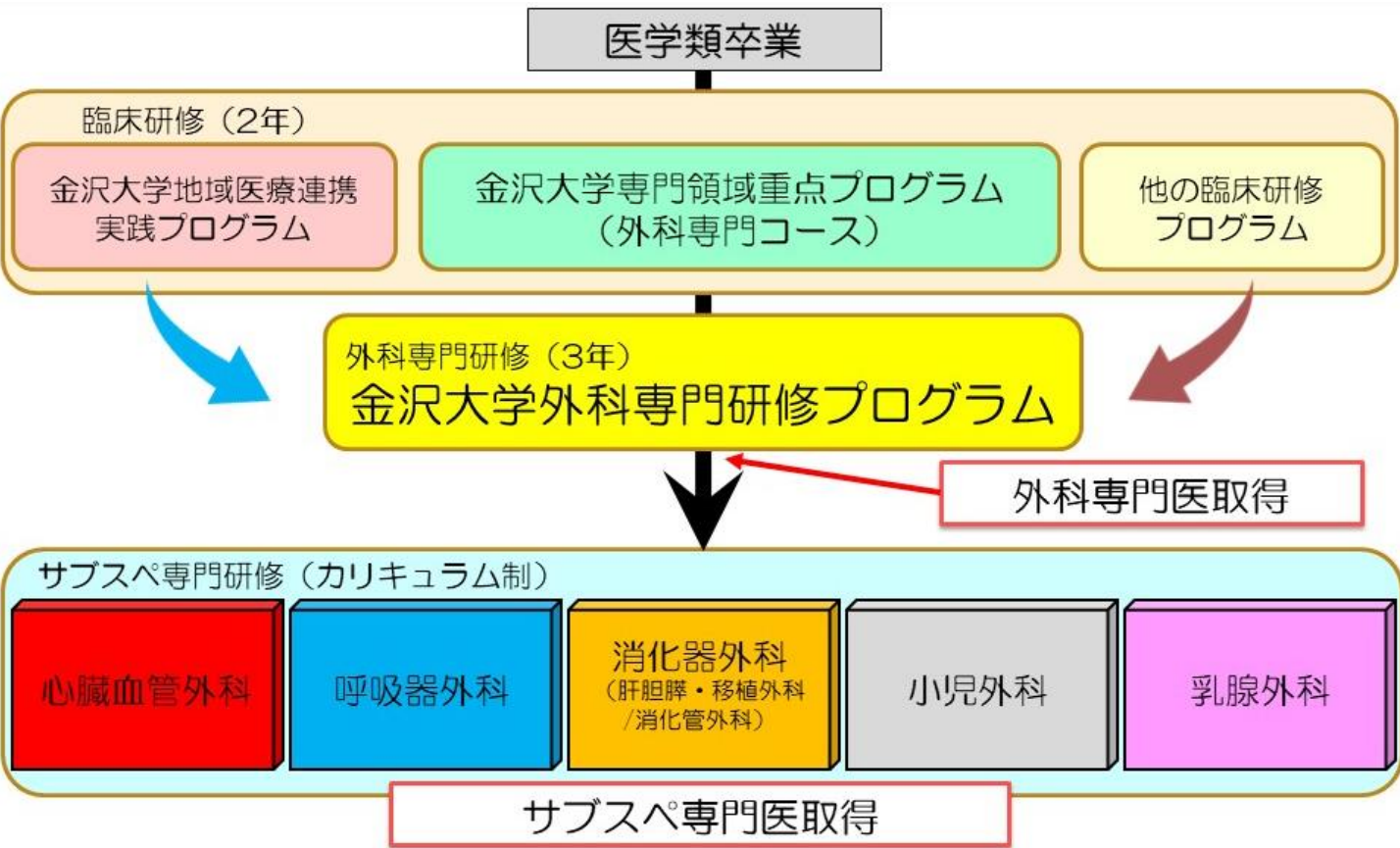
- (1) 350例以上の手術手技を経験
- (2) 術者として120例以上を経験
- (3) 各領域の手術手技または経験の最低症例数
 - ① 消化管および腹部内臓 (50例)
 - ② 乳腺 (10例)
 - ③ 呼吸器 (10例)
 - ④ 心臓・大血管 (10例)
 - ⑤ 末梢血管 (頭蓋内血管を除く) (10例)
 - ⑥ 頭頸部・体表・内分泌外科 (10例)
 - ⑦ 小児外科 (10例)
 - ⑧ 外傷の修練 (10点)
 - ⑨ 上記①～⑦の各分野における内視鏡手術 (10例)

特定の領域に偏ることのない診療経験が必要



金沢大学 外科領域専門医育成システム

医学部卒業からサブスペ専門医取得までのながれ



- 臨床研修中の修練も経験症例に加算可能
- 外科専門研修とサブスペ専門研修はオーバーラップ可能

研修施設群 金沢大学 外科専門研修プログラム

専門研修施設群 = 基幹施設 + 連携施設

● 専門研修基幹施設

金沢大学附属病院（心臓血管外科，呼吸器外科，消化管外科，肝胆膵・移植外科，小児外科，乳腺外科）

● 専門研修連携施設（39施設）

石川県（20施設）

浅ノ川総合病院	小松市民病院
石川県立中央病院	済生会金沢病院
加賀市医療センター	城北病院
金沢有松病院	市立輪島病院
金沢医療センター	珠洲市総合病院
金沢市立病院	芳珠記念病院
金沢赤十字病院	KKR北陸病院
金沢西病院	JCHO金沢病院
恵寿総合病院	
公立宇出津総合病院	
公立能登総合病院	
公立松任中央病院	



富山県（12施設）

黒部市民病院
厚生連高岡病院
厚生連滑川病院
高岡市民病院
砺波総合病院
富山県立中央病院
富山市民病院
富山赤十字病院
富山西総合病院
富山労災病院
南砺市民病院
北陸中央病院

福井県（3施設）

市立敦賀病院
福井県済生会病院
福井県立病院

神奈川県（4施設）

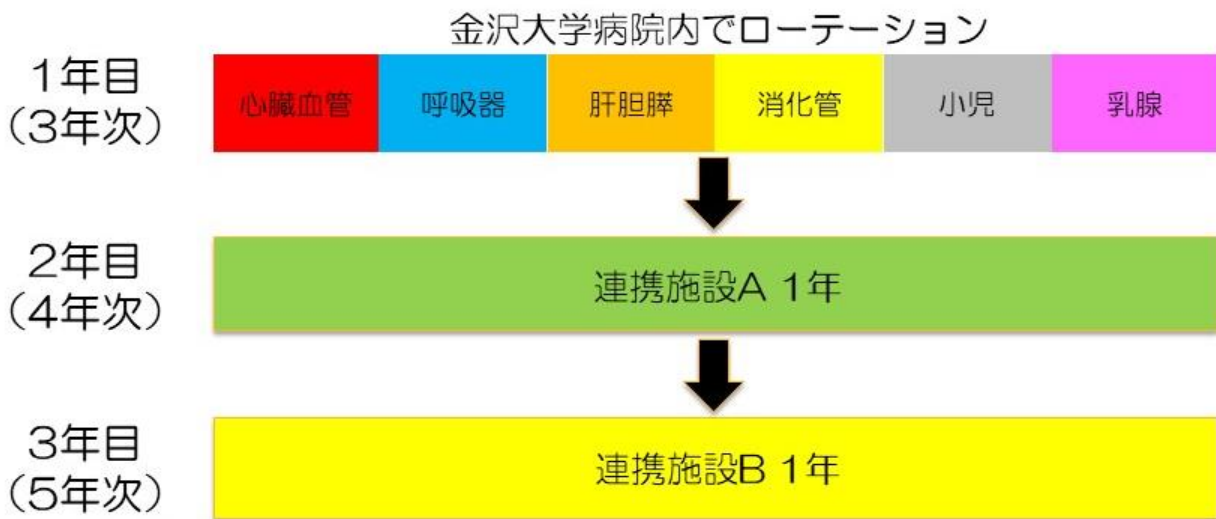
昭和大学横浜市北部病院
平塚共済病院
横浜栄共済病院
帝京大学附属溝口病院

専門研修指導医数：約160名

- 年間 30 名の専攻医を新規に受け入れ可能
- 北陸 3 県内に多数の連携施設あり
- 領域やニーズに応じてバリエーション豊富な研修が可能

研修例 金沢大学 外科専門研修プログラム

外科専門研修プログラムの標準的な1例



- 1年目は金沢大学附属病院で各領域を広く研修
- 2, 3年目は連携施設での研修
(希望するサブスペシャリティに応じて研修施設を決定)

* こちらは1例です。

研修の進捗状況, 地域枠, 通勤や家庭の事情(家族との同居, 育児, 介護など)などを考慮して個別にプログラムを作成します。

金沢大学病院 ロータリオンスケジュール

1年目：金沢大学病院での研修

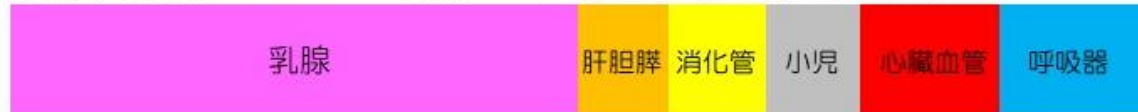
1. 講座別コース 心血管・呼吸器 3ヶ月 / (肝胆膵+小児) ・ (消化管+乳腺) 3ヶ月



2. 診療科別コース 各診療領域を2ヶ月ずつ



3. 乳腺外科専門コース 乳腺を6ヶ月, その他の領域を6ヶ月

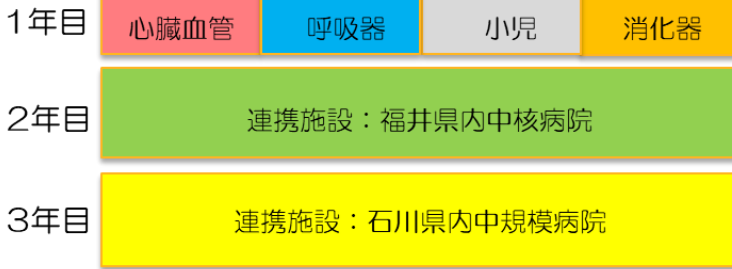


金沢大学附属病院研修・・・希望のスケジュールを選択可能です

プログラム修了生における**研修の実際** (消化器外科志望)

● 臨床経験

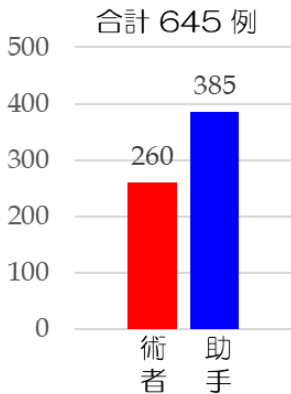
金沢大学病院内でローテーション



● 学術業績



- 1) 学会発表
 - 全国学会 8 題
 - 地方学会／研究会 6 題
- 2) 論文発表
 - 英語論文 4 編
 - 日本語論文 4 編



領域	経験症例数	必要数
消化器	425	50
乳腺	30	10
呼吸器	36	10
心臓・大血管	25	10
末梢血管	16	10
小児	87	10

● 先輩からのアドバイス

- ・ 3年間でとても**バランスの取れた研修**ができました。
- ・ **金沢大学外科プログラムの強みは研修施設の多さ**です。旧第一・二外科が統合されたことで研修病院が増え、より充実した研修が可能になったと感じました。
- ・ 病院や上級医の先生により病状説明、手術、術後管理などのやり方は異なる点が多く、**さまざまな病院で働くことで自分の診療の幅が広がる**と思います。
- ・ 「他大学出身だから不安だ」という声たまにありますが、イジメられるような心配は絶対にありません。
- ・ 最近、外科にも働き方改革の波が来ています。**人が増える → 働きやすくなる → さらに人が増える → もっと働きやすくなる**という**好循環**のためにはみなさんの力が必要です。

金沢大学 外科専門研修プログラムの特徴

- 北陸全体をカバーする **北陸最大** の **外科研修プログラム**
- **豊富な手術症例数** と **専門研修指導医** による充実した研修
- **多彩な病院群との連携** によりニーズに合わせた研修を提供
- **サブスペシャルティ専門医研修と連動した研修** が可能

金沢大学と連携施設が一体となって専門医を育成します。

不明な点などは以下にお問い合わせください。
病院見学をご希望される先生には随時対応いたします。
希望の日時、見学内容などをご相談ください。

専門研修プログラム統括責任者
副専門研修プログラム統括責任者

八木真太郎
竹村博文・稲木紀幸・松本勲

お問い合わせ先

➤ 金沢大学附属病院総務課臨床研修係

TEL : 076-265-2058 FAX : 076-234-4362

E-mail : rinsyo@adm.kanazawa-u.ac.jp

➤ プログラム担当 牧野 勇

TEL : 076-265-2362 FAX : 076-234-4260

E-mail : kanazawa-surg@med.kanazawa-u.ac.jp